

# 読解方法における気付きを蓄積し、 自らの学びに生かすことのできる生徒の育成 ——メモの活用を通して——

特別研修員 国語 齋藤 美和 (高等学校教諭)

## 教師の願い

- ・これまでの単元の学習内容を結び付けて考えてほしい。
- ・汎用的な読解方法を身に付けて文章を読んでほしい。

## ★手立て①

ワークシートにメモ欄を設け、読解方法における気付きを記述し、蓄積できるようにする

### 上部：板書部分

未来世代に対する思い	世代間倫理	例「結婚」の目的	特徴 (システムのみ)
未来世代は阻止する相互性を発揮できない ① 未来世代は阻止する相互性を発揮できない ② まだ存在していないから ③ 現在世代からのシステム ④ 未来世代は阻止する相互性を発揮できない	未来世代は阻止する相互性を発揮できない ① 未来世代は阻止する相互性を発揮できない ② まだ存在していないから ③ 現在世代からのシステム ④ 未来世代は阻止する相互性を発揮できない	親 現在(自分) 親 未来	相互性 現在性ありあり 親の目的の達成 結婚は未来世代の生存条件を悪くする 結婚は未来世代の生存条件を悪くする 結婚は未来世代の生存条件を悪くする

前の単元でメモした読解方法を今回の評論文でも生かしながらかみ解くぞ。

「普遍」という言葉は前の単元でも「あまねく」という言葉で出てきていたな。評論文によく出てくる言葉はメモしておこう。

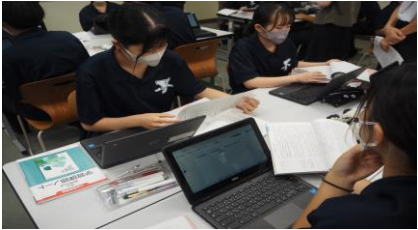
本文中の「家」は建物の家ではなく、「家系」という意味になるな。読解する上で注意するために上の板書部分と対応させてメモしておこう。



### 下部：読解方法における気付きや内容における気付きを記述

## ★手立て②

メモ欄に記述した内容やまとめ方を他者と共有し、よりよい学び方を身に付けさせる



Aさんは、「相互性」という言葉に着目してメモしているな。これはキーワードとしての「」か。「」はキーワードの場合と文脈上の意味で読む場合とがあるのだな。



Bさんは、メモ欄に板書部分の根拠となっているところを書いているな。根拠の部分は読解のポイントになりそうだから私もまねしてみよう。

## ★手立て③

メモ欄に記述した気付きを単元の最後にまとめ、次の単元で活用する機会を設ける

データで単元ごとにまとめ、蓄積していく

次の単元でも「」が出てきたぞ。話の流れを意識して、本文における語句の意味は何か考えよう。キーワードの「」かもしれないから、本文に印を付けておこう。



蓄積した気付きを自らの学びに生かすことのできる生徒へ

評論文の読解で気を付けること	具体的な注意方法
1 「」の付いている語句は辞書どおりの意味ではないことがある。	文脈上の意味を考える。キーワードの「」の場合は、印を付けておく。
2 接続詞の後の話の展開に注意する。	逆接は▽で囲んで目立たせる。

### 成果

- メモ欄へ自発的に記述するようになり、学習内容と読解方法におけるポイントとを結び付けられるようになった。
- 読解方法のポイントに気付いたことで本文の読み方に変容が見られ、本文に書き込みをしながら読解し、自らの力で文章の内容を理解しようとする姿勢が見られた。

### 課題

- △ 年度の後半になると新たな気付きは少なく、既習事項の確認作業に終始してしまうこともあった。今後は蓄積した気付きをまとめ、マニュアル化することで生徒が文章を読解する際の拠り所になると考える。